

平成 21 年度「協働のまちづくり活動支援事業 公開選考会」開催報告

開催日時 平成 21 年 5 月 16 日(土) 13:30～15:30

開催会場 江別市民会館 37 号室

プログラム

主催者挨拶 江別市企画政策部長 安田 俊明 氏

選考委員紹介

選考委員 佐藤 敏夫 氏 札幌国際大学大学院 非常勤講師
佐藤 功 氏 江別市自治会連絡協議会副会長
坂本 純科 氏 NPO 法人 人まち育て I&I 理事長



安田部長

1 支援事業応募団体の公開説明

○応募団体名と対象事業名及び内容

① 子ども文化ネットワーク・江別

「読み聞かせボランティアのためのワークショップとお話し会」

社団法人出版文化産業振興財団読み聞かせ講師岩城敏之氏の指導の下、読み聞かせボランティアのためのワークショップを開催し、その成果を「こねっとフェスティバル」で発表する。

ワークショップに参加したボランティアが日常的に活動を共にするメンバーとスキルアップできるように、お勧め絵本リストなども加え、マニュアルを作成する。



説明する「こねっと」の2人

② 地域健康づくりサポーター・Piece

「『NPO法人えべつ協働ねっとわーく』と連携して行う地域健康づくりサポート ～こんなこと聞きたかった!!!知れたかった!!!～」

「市民健康講座」及び「健康づくり講座」をします。

下記の理由によりNPO法人えべつ協働ねっとわーくと連携して行います。

- 1) NPO法人と連携することで当該法人の持つ幅広いネットワークを活用することで、効果的なPR・啓発が可能となるとともに、他団体との協働、連携の実現性が高くなること。
- 2) 少子高齢社会において、上記法人も市民の健康管理やその増進は、まちづくりをすすめる上で重要な事柄であると認識し、その分野で活動する団体との連携・支援を積極的に行おうと考えていること。健康講座は参加される方の希望や相談内容から検討し、一方的な発信ではなく、市民のニーズに応えられるような企画をしていきたい。



保健に関する専門家のグループです



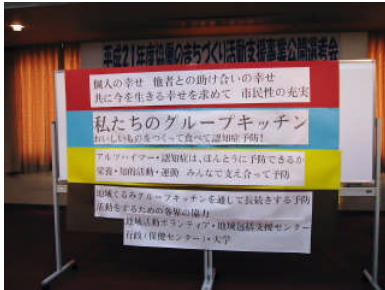
寸劇で活動内容の紹介をしました

③ 地域のお茶の間－喫茶店－カフェ近所ボランティアグループ

「みんなでグループクッキング－美味しいものつくって食べて認知症予防」

美味しいものを食べることは、最大のコミュニケーションとなると信じているが、調理することや、買い物するところから、みんなでお互い支えあって生きる夢が実現すると考える。

1人暮らしの不安を支えたい！事業を進めていくにあたって、地域包括支援センター、保健センター、さらに2大学の協力のもと、総合的に力を発揮していきたい。



2 ミニ講演「トランジション・タウン(ウエールズ)」 講師 坂本 純科氏

- * トランジション・タウンとはピークオイルと気候変動という危機を受け、市民の創意と工夫、及び地域の資源を最大限に活用しながら脱石油型社会へ移行していくための草の根運動です。

(トランジション・ジャパンのウェブサイトより)

坂本さんは実際にイギリスのウエールズ地方で体験し、学んで来られたことから次のように話されました。

「町は変転していきます。20年、30年先の社会の変わり様を想像してそれでは今何をしなければならないのか、今、なにができるかを考え、行動することが大切」と話されました。

トランジション・タウンの3つの考え方

- 1 自立の精神
- 2 お年寄りから学ぶ・・・伝わってきた知恵や技
- 3 シェア(共有)することで社会的なむだがなくなる

坂本さんは現在、長沼でエコビレッジを立ち上げ、札幌市内で「エコビレッジ塾」を開くなど幅広く活動されています。



3 ファイターズ戦のペアチケットが当たる抽選会

25組のチケットが当たりました。

試合日は7月10日(金)です。



6月4日から12日までセンターにおいて引換券と交換します。



* 事業の運営は「NPO法人えべつ協働ねっとわーく」が江別市の委託を受けて行いました。